

「 ストレスをためないで、この世界を楽しんで 」

ベトナム / グエン チュン ミン ユン

最近よく見かけて気になっていたことがあります。男性の10人に7人は髪が薄いし、3人はぶつぶつ言いながら歩いているのです。これはどういうことでしょうか。もしかしたら、ストレスを黙って抱えているせいではないでしょうか。それが全てではないでしょうが、ニュースを見てやっぱりと思いました。そのニュースによると、2012年の自殺者は15~24歳の若者が46.5%だとか。びっくりして、それはひどいと思いました。

どうしてそんなバカみたいに死んでしまうのでしょうか。私はそういう人に言いたいことがあります。あなたは死んだらそれですべて終わると思いませんか。死んだら楽になると思いませんか。自殺する時の体の痛さを知っているんですか。あなたは一人でこの世界に生まれてきたのではありません。十月十日の苦痛に耐えて産んでくれた人もいます。あなたがこの世界の一員となることを期待してくれた人もいます。あなたがいなくなったら、その人たちは一生苦しみます。あなたのせいで両親が泣きます。どうして少しのストレスなんかのせいで勝手に死のうと決めてしまうんですか。そんなことをして両親にもっと辛い思いをさせたいんですか。

でも、実はそういう私も自殺しようと思ったことがあるんです。それは私の夢について両親に相談した時のことです。そのころ私は思春期で心理状態が不安定だったので、傷つきやすく、ものごとを消極的に考えていました。両親は生まれたばかりの弟には何でもやってあげるし、私の兄の言う事には何でも同意するように感じます。なのに、私の夢には否定的です。高校を卒業した後音楽大学へ進むことに反対されたんです。

私はストレスがたまり、私なんかいなければいいんだと自殺を決意しました。農薬を手にとって

「お母さん、何で僕のこと気にしないの。僕なんかいないの？」と泣きながら言いました。母は何も言えないほどびっくりして、しくしく泣き始めました。それから、

「大切なユンちゃんのこと、気にならないはずがないでしょう。分かっているよね？」と言いました。その顔を見て急に母の気持ちを理解しました。そしてわんわん泣いて母の胸に飛び込んでいました。

両親が賛成しないのには心配だからこその理由があったんです。それを聞いて私は反省しました。あの時本当に農薬を飲んでいたら、今日の私はいませんでした。本当の親不孝者になるところでした。

人生は思い通りにならないことが多いものです。それでも、前向きに考える人もいるし、夢へ向かって努力する人もいます。それでどうして死など選ぶのでしょうか。

さあ、もうストレスばかりためていないで、子供として親孝行をしてください。愛情の在処を探してください。そして素晴らしいこの世界を楽しみながら、今日という日を暮らしてください。